平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技
第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

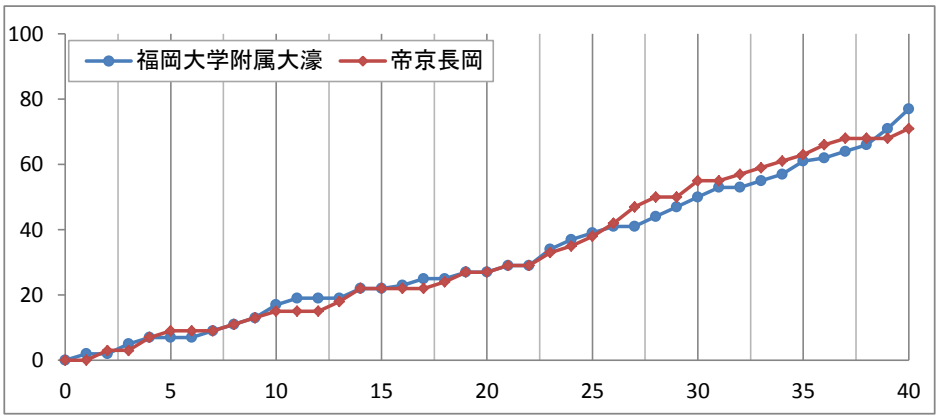
男子　3回戦

主審　久米　克弥

副審　小澤　朋克

福岡大学附属大濠	77	17	10	23	27		71	帝京長岡
（福岡）	○	—	—	—	—	—	●	（新潟）
		15	12	28	16			

No. 31a3　　日時：2013年7月31日（水）13:20　　会場：別府アリーナ



福岡大学附属大濠

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	＊ 青木　保憲 (C)	14	2	3	2	1
5	堤　大喜	0	0	0	0	0
6	金丸　亮太	0	0	0	0	0
7	＊ 葛原　大智	6	2	0	0	4
8	牧　隼利	0	0	0	0	0
9	松尾　啓輔	14	0	6	2	2
10	増田　啓介	－	－	－	－	－
11	鳥羽　陽介	2	0	1	0	0
12	帯刀　滉暉	3	1	0	0	0
13	＊ 津山　尚大	28	5	4	5	3
14	＊ 杉浦　佑成	10	0	5	0	3
15	＊ 野口　夏来	0	0	0	0	0
コーチ	片峯　聡太					
	合計	77	10	19	9	13

帝京長岡

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	櫻井　涼	－	－	－	－	－
5	＊ 高田　大地 (C)	7	1	2	0	4
6	谷内　亮太	－	－	－	－	－
7	＊ 田村　大樹	30	4	7	4	2
8	＊ 山本　健太	15	2	4	1	2
9	庭野　太郎	2	0	1	0	2
10	＊ 長谷川　大聖	8	0	4	0	1
11	＊ 刈　子澍	6	0	3	0	3
12	平櫛　大樹	0	0	0	0	0
13	袁　権	－	－	－	－	－
14	桃井　一翔	3	1	0	0	0
15	大久保　琳司	0	0	0	0	0
コーチ	柴田　勲					
	合計	71	8	21	5	14

＊…スターター　(C)…キャプテン　3P…3点シュート　2P…2点シュート　FT…フリースロー　F…ファウル

戦　評

第1ピリオドは両チームともマンツーマンDefで簡単には相手にシュートを打たせない展開でスタートする。福岡大学附属大濠は#13がファーストブレイクからのレイアップで先制。帝京長岡は#10の2Pシュートで反撃。この後帝京長岡は#10のジャンプシュートや#7のドライブイン等で得点を加えるが福岡大学附属大濠も#9、#14がリング下のシュートを決め、17－15福岡大学附属大濠の2点リードで第1ピリオド終了。第2ピリオドも堅いDefでお互い得点を許さない展開が続く。福岡大附属大濠がリバウンドから速いトランジッションの展開を仕掛けるが帝京長岡も#7の3Pシュートで追いかける。福岡大附属大濠#4のシュートで25－24とリードされた帝京長岡が#7の3Pシュートで逆転する。すかさず福岡大附属大濠がタイムアウト。次のOffで冷静に福岡大附属大濠#4がドライブからファウルを誘いフリースローを2本沈め、同点で前半終了。

後半は前半とは試合展開が異なり得点が大きく動き始める。福岡大学附属大濠は#4が連続で3Pシュートを決める。一方帝京長岡は#7のドライブインからバスケットカウント、#8の3Pシュートで得点を重ねる。さらに帝京長岡#7の連続3P成功で試合は帝京長岡のペースで進むかに見えた。しかしここから福岡大学附属大濠#13が獅子奮迅の大活躍を見せる。第3ピリオド残り3分から3P、3P、2Pシュートを連続で成功させ離れかけた点差を押しとどめ50－55帝京長岡リードで第3ピリオド終了。第4ピリオドに入っても福岡大学附属大濠#13の勢いが衰えない。連続で得点を続け、残り2分での3Pシュートでついに逆転に成功。帝京長岡の必死のOffを福岡大学附属大濠がしっかりと守りきり、77－71で試合終了。

記載者　津野　賢一郎　（所属）大分県バスケットボール協会

Copyright(c) 2011 Yuzo Kosaka All Rights Reserved